



豊かな心を持ち、たんぽぽのようにたくましく

「先生、たんぽぽが咲いているよ」

2年生の図工の時間、「春のスケッチ」の授業のことで、教室を出て、春の花や虫などの生き物をさがしていました。

ある外国籍の男の子は綿毛に興味をもっている様子でした。

「綿毛をとばしてみたら？」

と声をかけると

「いいの？どうやるの？」

と聞くので、

「こうやってやるんだよ」

と息をふきかけてみせると、何度も何度も夢中で綿毛を飛ばしていました。

コロナ禍で、できる活動に制限があり、顔を寄せ合って話をするのもままなりませんでした。

子どもたちが、たんぽぽが咲いているところに集まり、自分が知っていることをそれぞれ話したり、マスクをはずして、綿毛を夢中で飛ばしたりする姿を見て、何だか胸がいっぱいになりました。

そばにいた女の子が

「先生、たんぽぽのつぼみの中に何があるか知っている？」

と聞いてきたので、知らないふりをする

「この中に種があるんだよ。この種はどうやってできるかという・・・」

と細かく説明してくれました。絵本か国語の教科書の

「たんぽぽのちえ」を読んだのかもしれないと思いました。実際に目で見て、やってみて感動した体験は豊かな心を育みます。仲間と多くの感動を共有する時間を大切にしていきたいと思います。

「たんぽぽ」というと次の詩を思い出します。

「星とたんぽぽ」

金子 みずず

青いお空のそこふかく

海の小石のそのように

夜がくるまでしずんでる

昼のお星はめにみえぬ

見えぬけれどもあるんだよ

見えぬものでもあるんだよ

ちってすがれたたんぽぽの、

かわらのすきに、だアまって、

春のくるまでかくれてる、

つよいその根はめにみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、

見えぬものでもあるんだよ。

昼間の星もたんぽぽの根も目には見えないけれど存在しています。目に見えないけれど大切なものがたくさんあります。優しさ、思いやり、やる気、勇気・・・などなど。目に見えない大切なものに気付ける豊かな心をもつ子どもたちになってほしいと願います。

たんぽぽは一年中花を咲かせます。そして毎年花を咲かせます。根が残っていれば、またそこから茎を伸ばし、花を咲かせます。とてもたくましい花です。そんなたくましい今北の子をめざして、家庭と学校、地域が協力していくことが求められています。

令和5年度は、学校運営協議会（コミュニティースクール）の準備期間です。三者がどのように協力していくかを考えていきます。

文責 教頭 高原 美乃